

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクスウイング 6	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.508	△RG 0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アクスウイング 6

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番

比較対照ボール：アクスウイング 5

フレアーの幅 インチ

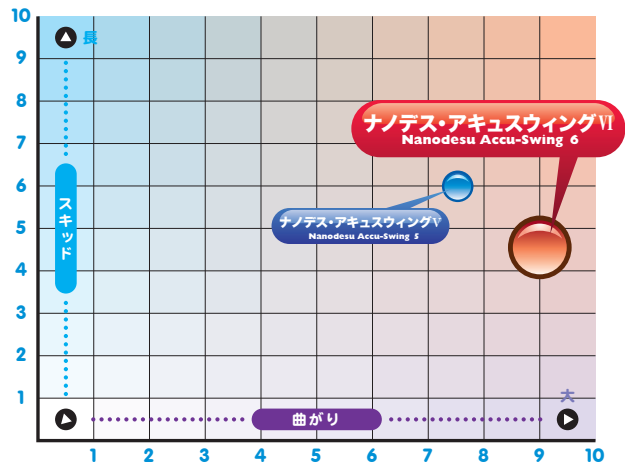
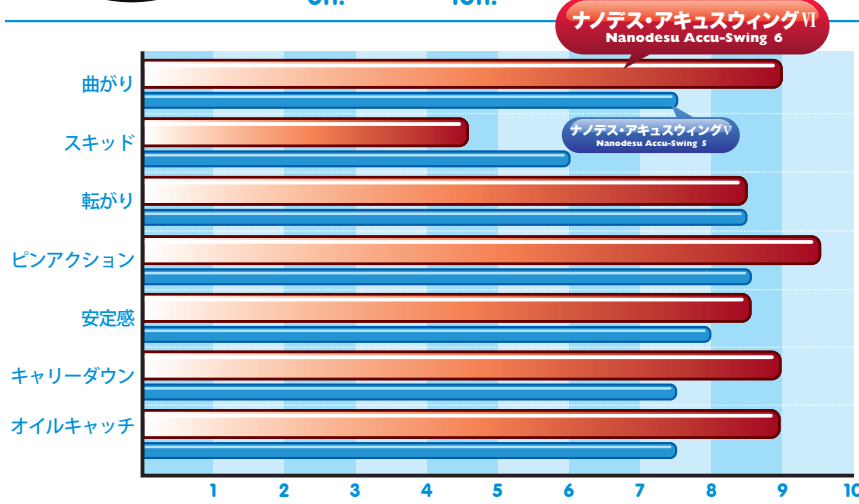
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



ボールの評価

ナノデスアクスウイングシリーズは、開発コンセプトはもとより、ユーザーから「投げてみたい衝動」に駆られるものでなければならず、コアデザインから無論パフォーマンスまで今考えられる最高峰を目指すことが、ナノデスファンに応える開発チームの一番の拘りです。今回このアクスウイングVIに目指したものは、アクスウイング最高峰のキャッチとバックエンドの強さとを共存させること。キャッチを強くすることによるバックエンドでのパワーロス、バックエンドを強く出そうとするオイルに対しての不安定感。同時に兼ね備えるだけのカバーストックの抽出とコアデザインとのマッチング。幾度となる作り直しを経て、納得のいくアクスウイング最高峰のパフォーマンスを得ることができました。キャッチ力とバックエンドのパワー双方を得るためにポリッシュ状態でも粘り強いキャッチを出せるSpecial Pearlカバーストックをあえて#1,500アブラネット加工を施し、フック後半からロール域の加速度を高めるため、アクスウイングVで使用したDMI disc Coreの上層部にWeight Blockを追加。コアのRGと△RGの数値の最終調整をシェル厚で調整する日本ならではの微調整は、ボール作りの概念さえ変えてしまうほどの取り組みが、このアクスウイングに盛り込まれています。#1,500アブラネット加工はキャッチの中にもスムーズなスキッドを得られ、DMI disc+Double Weight Block Coreは鋭さを感じられるほどアグレッシブなバックエンドモーションを演出します。テストの段階ではアクスウイングシリーズ中最大値の曲がり幅と鋭い曲がり双方のデータが算出されました。もちろんナノデスの生命線でもある衝撃吸収コアシステム導入で、このアクスウイングVIはミディアムヘビーからヘビーのコンディションで死角はありません。

特記事項

シリーズ最高峰の出来であると言っても過言ではないほど、キャッチと曲がりのバランスは絶品。ナノデスファンも、また曲がり系でピンアクション勝負したい方はこのアクスウイングVIを持つべきでしょう。